



市議令令和7年9月定例会が、9月2日から9月25日までの24日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

第三者調査委員会答申の受け止めと今後の対応

阿南市基金運用に関する第三者調査委員会においては、「令和2年度から4年度まで、債券購入については、当時の市長、副市長、関係部門が組織として対応できておらずに、会計管理者任せであった旨」をはじめ、様々な組織上の問題が指摘され、これにより「表原前市長時代の令和2年度から4年度の債券購入において、ガバナンス、すなわち組織統治が事実上機能していなかったこと」が答申により明らかにされたものと、強く認識しているところです。

このような事態を二度と生じさせないため、「組織統治の強化」と「再発防止」に向け、答申に盛り込まれた各種提言の早期完全実施に向けて、私自身、更にリーダーシップを発揮し、対策を進めているところです。

「いごもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生

阿南中学校区エリアにおける認定こ

本市は、地域経済を「庭」、地元の小企業を「植物」に見立て、地域の土壌で中小企業を大切に育てる「エコノミックガーデニング」の手法を用いた中小企業振興と地元企業の育成を産業政策の柱の一つとし、これまで阿南商工会議所中小企業振興特別委員会の皆様とともに、先進地視察や勉強会、企業訪問を重ねてまいりました。

そこで、8月28日、市ホームページに「エコノミックガーデニング阿南」ポータルサイトを開設し、支援策の概要を公表するとともに、同サイトでは、「資金繰り支援」など12のテーマ別に国・県等の支援策等を整理し、ワンストップで情報提供しており、市内の中小企業事業者の皆様には、是非、ご活用をいただきたいと存じます。

本市への企業立地を促進するとともに、GX・DX等に資する産業、すなわち次代を担う「新産業」の創生を奨励し、地域経済の持続可能性を更に向上させるため、「阿南市新産業創生奨励条例」を制定することとし、今議会に条例案及び予算案を提出しております。

この条例案では、本市の産業振興策をけん引してきた「阿南市工場設置奨励条例」の目的を、時代の要請に即してアップデートするとともに、奨励措置の適用範囲の「拡大」及び「明確化」を図り、新たな投資に意欲を持つ事業者への訴求力を高めてまいります。

ども園整備事業の実施に向けた、公募型サウンディング調査を開始しました。この調査には3つの民間事業者からエントリーがあり、事業者との対話を通じて参加意欲の把握を行い、併行して富岡幼稚園、富岡保育所及び寿保育所において、保護者及び地域住民向けの説明会を実施しました。

今後のスケジュールについては、早急に「阿南市富岡地区認定こども園整備・運営事業者検討委員会」を開催し、募集要項や選定基準について協議を行い、その後、応募書類の受付や書類審査及び面接審査を実施し、年内には事業者を選定してまいります。

南部学校給食センターにおいて調理業務の民間委託を開始しており、安全性や衛生面での適切な水準が確保され、さらに給食の「おいしさ」や「質の良さ」も児童生徒のアンケート結果において高く評価されています。

こうしたことから、第一学校給食センターにおいても新たに調理業務を民間委託とするため、令和7年度から令和10年度までを期間とする「給食センター調理等業務委託」に係る債務負担行為の設定について、令和7年度補正

併せて、蓄電池関連産業をはじめ、多様な産業が立地する本市の特性や地域資源の魅力等を積極的に発信し、「本市への投資」を呼び込み、地域経済の持続的な成長及び市民生活の向上へとつながるよう、全力で取り組んでまいります。

健康でひとに優しいまちづくり

阿南医療センターと北里大学北里研究所病院の病院間連携協定締結をきっかけとし、「あなん健康まつり」の講師として、北里大学北里研究所病院長補佐、糖尿病センター長である山田悟先生と、JA徳島厚生連阿南地域医療教育センター特任教授、粟飯原賢一先生がご講演くださることとなりました。山田糖尿病センター長は、「おいしく食べて健康に」ゆるやかな糖質制限のすすめ。また、粟飯原特任教授は「あなたとあなたの大切な人のために知っておきたい糖尿病の知識」と題してご講演いただきます。

いざ発災時、避難に支援が必要な高齢者や障がい者など、それぞれの皆様に応じた避難計画の策定について、今年度本市は、内閣府が実施する「個別避難計画作成モデル事業」に徳島県と共同で事業提案したところ、モデル団体として採択されました。当事業は、「避難行動要支援者」についての個別避難計画の作成をスピード感を持って着実に推進するため、ケアマネ等の身

予算案として今定例会に提案しております。今後のスケジュールとしましては、本年12月には契約を締結したいと考えており、新年度当初から業務委託を行い、現在と変わることのない学校給食の提供に万全を期してまいります。

歴史・文化でにぎわうまちづくり

和歌山県高野町との「歴史友好都市」締結について、インバウンドも含め年間約150万人もの観光客で賑わう高野町との交流は、大変意義深いものであると考えており、まずは、歴史文化や観光について、持続可能な交流からスタートし、将来的には広域交流へ拡大し、「みなみ阿波」内外にわたる歴史文化・観光交流につなげ、市民の皆様が心豊かな生活を送ることができるよう魅力や活力に溢れるまちづくりを進めてまいります。

「図書のみち阿南」構想は、既存の那賀川・羽ノ浦両図書館はもとより、公民館や科学センターといった公共施設や、地元書店等と協働することによ

近な福祉専門職による計画作成に加え、個別郵送により本人またはその家族による計画作成を促進するものとなっております。

今後、当事業を通じて作成された個別避難計画を、避難支援等関係者間で事前共有することにより、多様な主体のご協力を得ながら、情報伝達体制の整備、避難訓練の実施等をより一層図り、地域の防災力の更なる向上を目指してまいります。

地域公共交通の利用促進と移動手段の確保

市内路線バスの運行事業者である徳島バスにおきましては、交通系ICカードの一つである「ICOCA」を令和8年2月に全車両に導入することが決定し、現在、準備を進めているところであります。

「ICOCA」の導入により、全国の交通系ICカードでキャッシュレスでの乗車が可能となることから、国内の観光客やインバウンドを含む利用者の利便性向上に大きく寄与するため、本市は、県や関係する自治体と連携を図りながら、徳島バスへの「ICOCA」導入を支援し、将来に向けた持続可能な地域公共交通の維持確保に努めてまいりますと考えております。

循環バスナカちゃん号は、平成30年10月に既存の運行コースから、「あすみが丘東及び桜の馬場、古毛児童公園までの区間」を延伸いたしました

り、阿南市全域において、市民が、いつでも、誰でも気軽に集い、図書に親しみ、学びあえるような魅力あふれる新しいまちづくりをイメージしております。

新たなコンセプトである「図書のまち阿南」構想の「具現化策」といたしまして、まずは、市民の皆様が、長年培ってきた「阿南の図書文化」を進化させながら、将来世代へ引き継いでいくべく、新設する「阿南中央図書館（仮称）」を核として、那賀川・羽ノ浦両図書館を含めた「あなん『読書テラス』ネットワーク」を新たに構築してまいります。

なかでも、那賀川・羽ノ浦両図書館については、「阿南中央図書館（仮称）」が開設された後も、「各所在建物も存続」するとともに、「機能面」については「一つ目は残す機能」、「二つ目は見直す機能」、「三つ目は新たに導入する機能」の3つの観点から、市民の皆様の声をしつかりと反映しながら、那賀川読書テラス（仮称）及び「羽ノ浦読書テラス（仮称）」という「新たな公共空間」へと進化させてまいります。

徳島バスからは、利用者が少ないことから、運行を取りやめ路線の短縮を図りたいとの申し出がありました。

そこで、交通空白地となります岩脇地区につきましては、地域住民の移動手段を確保するとともに、路線短縮による影響調査や地域住民のニーズを把握するため、本年10月1日から「予約型乗合タクシー」の実証運行を新たに実施してまいります。

那賀川町複合施設の整備

現在、基本設計及び実施設計の発注に向けて手続を進めており、本年度から2か年をかけて全体設計を完成させ、令和9年度に着工、令和11年度中の供用開始を目指してまいります。

この複合施設は、現在、那賀川社会福祉会館及びその周辺に位置する那賀川支所や公民館、老人いこいの家など、異なる用途の施設を1か所に集約し、防災や子育て支援のほか、カフェや小規模販売スペースといった公民連携など、地域に役立つ多様な機能を備えた施設として整備するものでございます。

私は、この複合施設を「那賀川町エリアの中心となる複合型交流拠点」として位置づけ、早期完成を目指し、まずは、本年度中に基本設計を完成させ、施設の用途や設計コンセプトをより一層詳細にお示しできるよう、鋭意、取り組んでまいります。